

よくある質問 Q&A

本校に関するご質問の一部を掲載いたします。
その他ご不明な点がございましたら、お電話等でお問い合わせ下さい。

Q1 機械科と生産機械科の違いを教えてください。

～主な相違点！～

A1
①

《 機械科 》 機械設計から製作までを総合的に学びます。特に、自動車工学や原動機実習を通してエンジンについて学び、手仕上げ加工を重視したものづくりの技術を養いながら学習を進めます。
《 生産機械科 》 工作機械や工場全体の制御に関することを多く学びます。特に、生産ラインのシステム構築やその管理について学習を進めます。

～カリキュラムが違います！～

A1
②

	《 機械科 》	《 生産機械科 》
機械工作	4単位	5単位
機械設計	6単位	4単位
原動機	2単位	3単位
自動車工学	2単位	…
電子機械	…	2単位
実 習	6単位	8単位
製 図	8単位	6単位

～実習内容が違います！～

A1
③

	《 機械科 》	《 生産機械科 》
1年次実習	旋盤、溶接、電気、 手仕上げ	旋盤、溶接、電気、 制御・マイコン
2年次実習	機械仕上げ、溶接、 MC、材料・計測	機械仕上げ、溶接、 MC、PLC制御
3年次実習	機械仕上げ、MC、 原動機、制御	機械仕上げ、CAD、 材料・計測、 空気圧・ロボットアーム制御

※詳しくは、本ホームページ「学科紹介」をご覧ください。

Q2 建設科のコース制は、希望通りに選択できますか？

A2 できるだけ生徒の希望を優先し、2年次からの「土木コース」と「建築コース」に分けています。実習設備や道具類の関係上、大幅な偏りが生じた場合には調整させていただく場合もあります。
なお、教育課程上、途中のコース変更はできません。1年次の2学期末までに希望を提出してもらい決定しています。

Q3 入学時に必要な費用を教えてください。

A3 入学時に、入学料、諸経費、制服代、実習服代、教科書類代等で、約170,000円を徴収させていただきます。
入学後には、実習費や各種検定代金として、約40,000円を別途徴収させていただきます。
なお、上記徴収金額は、科や年度によって異なります。

Q4 資格は沢山取得できますか？

A4 挑戦しようとする意欲の度合いによって、取得できる数は変わります。
全科共通で取得できるものや各科ごとに取得できるものがあります。
資格によっては高額な受験料や試験日が限定されているものがありますので、計画的に挑戦して下さい。

Q5 女子生徒でも工業高校の学習についていけますか？

A5 何の心配もありません。今年度は、全生徒数480名中28名の女子生徒が在籍していますが、ものづくりを学ぶ上での男女の差はございません。実習等は男子生徒が手伝ってくれる等、助け合いながら明るく楽しく学んでいます。

Q6 部活動は盛んに活動していますか？全員入部しないとイケないのですか？

A6 部活動加入は任意ですが、例年約8割の加入率となっています。現在22の運動部・文化部・各科学研究部があり、活動時間は部によって異なりますが、平日の16:00から19:00頃まで活動する部活動が多く、週1日以上の日を設けています。
特に、ライフル射撃部・自転車競技部・陸上競技部は、毎年のように関東大会や全国大会に出場しています。

Q7 二輪・四輪の運転免許は取得できますか？

A7 原付免許は、1年次夏休み以降から許可制で取得可能です。取得者は、安全運転講習会を毎年受講することになります。
四輪普通免許は、3年次2学期中間試験以降(進路内定者)から許可していますが、在学中の1人での運転は禁止としています。
なお、自動二輪免許の取得は禁止としています。

Q8 遠方からの通学となる場合、バイク通学は可能ですか？

A8 通学困難な生徒に限り、2年次より原付バイクでの通学を許可しています。
詳しい条件等は、入学後に生徒指導部からご説明いたします。

Q9 在学中にアルバイトはできますか？

A9 原則禁止としています。
ただし、経済的な理由等のやむを得ない場合や公共性及び社会貢献性の高い職種に関しては、許可する場合があります。

Q10 就職希望者の内定状況を教えてください。

A10 例年、学年160名中、約120名が就職を希望し、約9割の生徒が第1希望の入社試験での内定をいただいています。2社目、3社目を受験する生徒も数名いますが、就職を希望していながら就職先が決まらずに卒業を迎えてしまうケースはございません。

Q11 卒業後、公務員になることは可能ですか？

A11 可能です。
公務員試験は難関ですが、例年数名が、役所、自衛隊、消防、警察等への内定をいただいています。

Q12 4年生大学への進学は可能ですか？

A12 十分に可能です。工業高校は普通科高校と比べて普通教科の授業数が少ないため、受験に不利と思われがちですが、実は多くの大学で、以下のような工業の専門性を生かした入試方法が行われており、有利に入学できる場合もあります。

《 国公立大学(工学部) 》

工業高校生向けに「専門高校推薦」という制度があります。出願要件は「工業に関する学科において成績と人物が優れた者」です。工業高校で成績上位を維持すれば、国立大学への道が開けます。

近年では、宇都宮大学や群馬大学へ進学した卒業生がいます。

《 私立大学(工学部) 》

「専門高校入試」という制度があり、他の普通科高校とは別枠で指定校の受験枠が設定されています。また、AO入試(自己推薦入試)等で受験するケースも多く見受けられます。

※詳しくは、本ホームページ「進路室より」をご覧ください。

Q13 携帯電話やスマートフォン等は、校内で使用できますか？

A13 校内での使用は、原則禁止です。
校内への持ち込みは許可制とし、校内では電源を切りカバンにしまうことになっています。ただし、やむを得ず使用しなければならない場合には、教職員の許可のもと指定した場所での使用を認めています。